

目次

第 1 章 Oracle アーキテクチャ概要

01	Oracle の基本構造	1-1
02	データベースの構造	1-3
03	プロセス	1-7
04	メモリー領域の構造	1-9
05	マルチテナント・アーキテクチャの概要	1-13
06	データベースの起動と停止の仕組み	1-17
07	データベースの内部情報	1-27

第 2 章 SQL 処理と Oracle インスタンス

01	SQL 処理の概要	2-1
02	データベースへの接続	2-3
03	SQL の解析と共有プール	2-9
04	SQL の実行とデータベース・バッファ・キャッシュ	2-15
05	データの変更と REDO ログ・バッファ	2-21

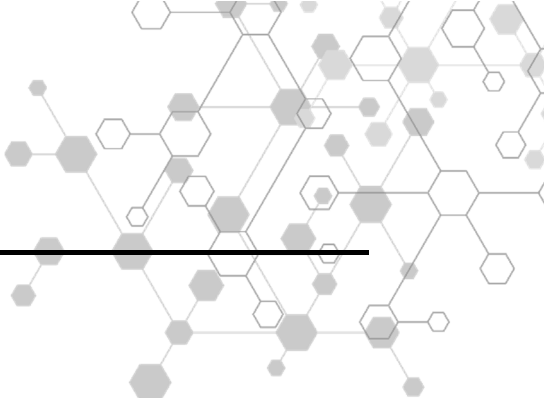
第 3 章 障害の種類とデータ保護の仕組み

01	障害の種類	3-1
02	障害に備えた仕組み	3-3
03	ファイルの多重化	3-9
04	障害からの復旧	3-13

第 4 章 ユーザーデータ用表領域

01	表領域の概要	4-1
02	ユーザーデータ用表領域の特徴	4-5
03	セグメントとエクステンツ	4-9
04	データ・ブロック	4-13
05	索引	4-21





第 5 章 その他の表領域

- 01 表領域の概要（復習） 5-1
- 02 SYSTEM 表領域 5-3
- 03 SYSAUX 表領域..... 5-4
- 04 一時表領域..... 5-5
- 05 UNDO 表領域..... 5-9

付録

- 01 共有サーバー構成 A-1
- 02 Recovery Manager（RMAN） A-5
- 03 データ操作に伴う問題点 A-7

索引